

扶桑菅廟最初

防府天満宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名「酒垂山」からとったものです

佐加太利

令和6年
春夏号

113号



目次

1 点描／花の賀

2 巻頭言

3 崇敬会だより

式年大祭奉賛会

第二回総会

TOPICS

ひたぶる

寄稿

県指定史跡

7・6 防府天満宮大専坊

石垣の修復に向けて

8 防府天満宮の桜浪漫

〜さくらとあまのついで〜

青年部若梅会

創立十周年を迎えて

結婚おめでとう

9 天神おんな神輿写真コンテスト

社務所だより

11・10 天神様の冬から春〜日誌抄〜

12 これからの祭事行事案内



第六巻 9m20cm

第五巻 13m31cm

第四巻 12m12cm

第三巻 13m80cm

第二巻 14m30cm

第一巻 13m10cm



千百年大祭を振り返りながら……

宮司 鈴木宏明

今年の桜は例年に比べ開花が遅れました。そのお陰で入学式の頃に満開を迎え、境内でも桜に
びかびかのランドセルを背負った新一年生という光景を目にすることが出来ました。

一般的に天神様の花といえば「東風吹かば……」に代表される梅ではありますが、「松崎天神縁起繪
巻」紅梅殿別離の場面には梅と共に「桜」が描かれており、道真公は

「桜花主を忘れぬものならば吹き込む風に言伝はせよ」

と梅と同様に桜にもご自分の胸の内を託しておられます。

防府天満宮の境内には約四百五十本もの桜があり、その桜たちが道真公を偲びつつ多くの参
拜者の目を楽しませています。そんな春爛漫の下、今年より「合格おめでとう」の意味も込め
「さくら咲まつり」を開催し、境内はお礼参りの親子連れで賑わいました。

「道真公は四季を問わず花鳥風月を愛しんでいらつしやいました」と御神忌千百年大祭の総会
で、奉賛会顧問をお務め頂いた萩原益三様(故人)に講話を頂戴致しました。

「……道真公の新古今和歌集には、山、日、月、雲、霧、雪、松、野、梅、鵲、波などの題
がのぼり、道真公は高位の人でありながら、常に自然観察を通じてものごとの真理や本質を追
い求め、その表現として詩や和歌に見事に結実させておられるのです。政治家であり学者であ
りかつアーティストだったわけです。ここに並々ならぬ教育者としての人物像が浮かび上がっ
てまいります。今日のように小学校や中学校の先生が、生徒に対してマニュアル通りに教える
だけの平面的且つ一律的な教育と比べますと、哲学的にも手法的にも大きな違いを感じるわけ
です。昔私たちが子供の頃体験した、自然と遊びながら学ぶ中にある原理原則を忘れている
ように思えてなりません。これからの子供たちにとって『真に求められる教育とは何か?』私は
今日、改めてそのことを道真公に尋ねてみたい衝動に駆られました……」と。

御講演頂いた頃とは時代背景は少々違いますが、今教育現場では「多様性」という言葉が闊歩
し、タブレットに全ての「正解」を求める子供たちの姿に危うさを感じています。次の大祭まで
あと三年と迫り、千百年大祭を振り返りながら、私も改めて「真に求められる教育とは何か?」
道真公に尋ねてみたい衝動に駆られました。

※本ページの天地に掲載した(重文)松崎天神縁起繪巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその[]の部分を紹介しています。

第六巻 9m20cm

第五巻 13m31cm

第四巻 12m12cm

第三巻 13m80cm

第二巻 14m30cm

第一巻 13m10cm



崇敬会だより

「第二十三回崇敬会大祭」

去る、五月一日、第二十三回崇敬会大祭を斎行しました。福田百合子会長以下三十二名の参加ではありましたが、皆様のお顔を拝見でき大神様もさぞご安心の事と拝察申し上げます。

祭典後の総会では、光市千坊台在住の甲斐宏樹様、昭恵様ご夫妻に二十回参加、また防府市新田の山陽建設工業(株)代表取締役会長塩田津多子様にも十回参加の表彰がありました。



▲祭典後、参列者と楼門前にて

その後宮司より昨年の十月十四日、崇敬会東京支部第二回総会が無事開催された旨の報告や、令和九年の御神忌一一二五式年大祭に向け、賽銭箱を新調する事や、防府の特産である「天神鱧」を使用した名物の紹介などがありました。

直会では参加者の近況報告をしながら交流し会員相互の親睦を深めつつ大祭を無事に終えました。



▲福田百合子会長挨拶

事務局よりお知らせとお願い

お陰を持ちまして、当崇敬会も会員数一、八〇六名、家族数六四六家族(令和六年五月現在)を数える会にまで成長しました。これもひとえに日々、天満宮を支えて下さる崇敬者の皆様のお陰と感謝申し上げます。

当会は、来る令和九年の御神忌一一二五式年大祭を迎えるまでに一、〇〇〇家族を目標に掲げております。ぜひとも、この目標を達成するために近所やお知り合いに広くお声掛けをお願い申し上げます。

新規会員紹介

令和五年十一月十五日以降入会の方々です。(順不同敬称略)

特別法人会員

山口三菱自動車販売(株)
防府市高倉

特別会員

宮本智美 広島県廿日市市
伊藤龍義 防府市高倉
寺西修二 防府市八王子
高橋良祐 神奈川県相模原市

個人会員

岡部 功 山口市桜島
菅原史曜 防府市天神
笹木恵洋 周南市桜木
高橋淳一 防府市高井
石森和磨 茨城県土浦市
松村昌代 山口市仁保

松代 崇 防府市八王子
下野行雄 防府市牟礼今宿
石本巴智江 防府市千日
時重絵美 周南市徳山
金重真由美 山口市小郡

家族会員

大村英雄 防府市西浦
芥川継治 防府市江泊
吉山隆二 熊毛郡田布施町
今田悦子 周南市須万
若林正剛 東京都港区

崇敬会入会をご希望の方は、同封の入会案内を御覧の上、お申し込み頂きますようご案内申し上げます。



▲こちらからもお申し込み頂けます。

令和九年菅原道真公

御神忌千百二十五

式年大祭 奉賛会

第二回総会開催

四月二十四日、総裁をはじめご来賓として池田豊市長ご出席のもと、奉賛会役員、総代、奉賛会会員等六十五名に出席頂き標記総会を開催致しました。議

事では会則に則り羽嶋会長が議長を務め議事が進められ、奉賛会を構成する六つの部会より二年間の事業活動と今後の予定が報告されました。引き続き会計報告と監査報告が行われ全員の拍手をもって承認されました。

閉会後は岡正朗先生により記念講演が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。各部会報告は以下の通りです。



▲毛利元敦総裁は「25年に一度の大祭を成功裡に終え、防府市が更に発展することを願っている」と述べられました。

◆総務部会

脇正典部会長

奉賛会運営に関する必要書類の作成が完了した旨報告。続いて記念誌作成では「大祭記録」の部と「新・防府天満宮考録」を編纂予定であると報告した。

◆募財部会

嶋本博部会長（一般募財）

白石民彦部会長（氏子募財）

令和五年度末までの募財状況を報告。一般募財は次年度中に目標額を達成させるとの意気込みを示した。氏子募財については難しい世情ではあるが氏子区域内全戸へのお願いが欠かせないと述べ、引き続きの協力を要請した。

◆広報部会・名物企画委員会

板村至部会長

大祭ポスター、PR看板、幟旗などを製作の報告した他、「一万人裸坊奉仕を目指して」のクラウドファンディング事業の結果を報告し、鈴木宮司より羽嶋奉賛会会長に441万9280円（計276件）の目録が贈呈された。続いて中村元彦名物企画委員長からは、大祭のPRとして開発した防府の名物（TOPICS参照）について報告した。

◆祭典部会

村田敏夫部会長

高額奉賛者への返礼の品として、平成二十四年に改修した拝殿幣殿を支えていた部材をデザインし頒布する予定であると発表した。

◆事業部会

小松宗介部会長

全十二事業の工程表を示し、中でも表参道整備事業、勝間の浦の整備事業、賽銭箱の改修事業について概要を報告した。

◆行事部会

山根耕太郎部会長

前回・前々回の式年大祭記念行事も参考に、防府観光コンベンション協会や市文化協会との連携協力を強めていきたいと述べた。

TOPICS

「天神鱧」で式年大祭をPR



▲製造は「しそわかめ」で有名な(株)井上商店(萩市)。各商品の右上には大祭PRのロゴシールが貼られている。

式年大祭をPRしようと、「天神鱧」を使用した3種類の新たな名物「はものまぜご飯の素」、「はものちらしずしの素」、「はもせんべい」を考案しました。3月24日「さくら咲まつり」始祭にて御神前にまずお供えし、引き続き3品の報道発表が行われました。その後参拝者に振る舞われ、その味に大人も子供も大満足！取材に応じた「美味しいかもー」と叫んでいたあの子の言葉が「美味しいはもー」と聞こえたのは私だけではないはず(笑)。現在、県内の丸久アルク各店、空港、駅、道の駅でも販売されています。見かけた際はPRにご協力ください！近々「鱧雑炊や鱧パイが登場するかもー！」



▲左より鈴木宮司、中村名物委員長、(株)井上商店 井上社長

講演 記念

「地方大学の
現状と未来」

講師 岡 正朝先生
(山口県立大学理事長、奉賛会顧問)



「菅公は、十八歳にして中央集権国家における官吏の養成を目的として定められた大学寮に学ばれた」と述べられ、公の学才は当時から遺憾なく発揮されていたことが紹介されました。

また、人口減少問題に触れた上で「今後のめまぐるしい社会の変化に求められるのは、デジタル社会に強い文系の人材」と述べられ、県立大学の取り組みをご紹介いただきました。

菅原道真公
御神忌1125年式年大祭奉祝
令和6年限定 切り絵朱印
頒布のお知らせ

この切り絵朱印は令和9年まで毎年デザインを新たに頒布予定で、初穂料の一部は式年大祭奉賛金として納めさせていただきます(こととなっております)。



頒布初穂料 二千元

御神忌千百二十五式年大祭御奉賛状況

御奉賛有難う存じます

(令和五年十一月二日〜令和六年四月三十日現在・正会員以上・敬称略順不同)

- 〈名誉会員〉
 - 二百一十万円 マツダ(株)防府工場 防府市西浦
 - 百五十万円 堀田産業(株) 防府市国衛
 - 百万円 HARA D A(株) 防府市新田
 - (株)森國工務店 防府市今市町
 - (株)廣政鐵工所 防府市浜方
 - 上田 和男 防府市平和町
 - 三田尻化学工業(株) 防府市浜方
 - (株)西京銀行 周南市平和通
 - (株)山口銀行 下関市竹崎町
 - 網川 智久 東京都港区
- 〈特別会員〉
 - 五十五万円 上山 謙一郎 防府市中央町
 - 五十万円 村田(株) 防府市浜方
 - 岸 正人 防府市上天神町
 - 大英産業(株) 北九州市八幡西区
 - 吾妻 紀彦 守谷市久保ヶ丘
 - 医療法人貴和会 防府病院 防府市高井
 - (株)キャッスル リンサイ(株) 防府市宮市町
 - 岡本 早智子 防府市国衛
 - 菓子処たなか遊花堂 防府市追戸町
- 〈有効会員〉
 - 三十万円 山口紙業(株) 防府市宮市町
 - (株)プリヂェストン 防府工場 防府市浜方
 - 十万円 レンゴー(株) 防府工場 防府市浜方
 - 藤井汽船(有) 防府市牟礼
 - 藤原 政彦 山口市徳地
 - 中村 隆 防府市天神
 - 岩本 邦男 防府市伊佐江町
 - 小河原 正彦 周南市桶川町
 - (株)はまはら 防府営業所 防府市駅南町
 - 倉員祥子税理士事務所 防府市下右田
 - (株)クラズミミネーションズ 防府市下右田
 - 大田 知美 防府市緑町
 - 尾崎 重雄 防府市岸津
 - 宮本 厚子 防府市岸津
 - 光友 由貴 防府市緑町
 - 梶山 宏 山口市名田島
 - 山崎 凱千 防府市東三田尻
 - 防府市東仁井令町
- 吉武 晋五 防府市戎町
- 林 善明 大垣市熊野町
- 昭和パックス(株)防府工場 防府市千日
- 黒川 博厚 防府市天神
- 六万円 (株)都屋 福岡市中央区
- 五万円 吉瀬 勝康 防府市東松崎町
- 清水 壽子 防府市岸津
- 下久保 百合子 広島市安佐南区
- イオンリテール(株) イオン防府店 防府市中央町
- イオン防府店同友店会 防府市中央町
- 松田 昌三 防府市錦屋
- 三戸 昌志 山口市徳地
- 石本 孝志 熊毛郡平生町
- (株)山口玉ねぎ本舗 防府市新田
- (株)イスマィ ゆめタウン防府 防府市八王子
- 貞平 友子 防府市戎町
- アメリカンランゲージスクール防府校 防府市八王子
- 桑原 一朗 防府市国分寺町
- 松下 文二 防府市天神
- 四万三千元 佐波中昭和44年(20期)卒業生有志
- 三万円 三島 敬史 萩市椿東
- 大田 昭 防府市今市町
- 吉田 栄則 防府市田島
- 小阪 時則 防府市国衛
- 藤本 豊 横浜市青葉区
- 立市町内会 防府市上天神町
- 宮本 智美 廿日市市宮内
- 田中 裕志 防府市天神
- (有)原田鉄工 久留米市田主丸町
- 岡 俊明 防府市緑町
- 清水 満夫 防府市追戸町
- 中野 正子 宇部市東岐波
- 石本 令江 熊毛郡平生町
- 片山 香緒里 防府市浜方
- (株)大林商会 防府市田島
- 大浜 悟史 防府市警固町
- 伊藤 雄三 防府市松崎町
- 國本 泰明 防府市松崎町
- (有)山根銃砲火薬店 防府市戎町

ひたぶる

権禰宜 田中利明

平成二十四年に三十歳で帰郷、天満宮に奉職し、早くも干支がひと回りした。この間の神社境内のおもてなし力の進化は著しい。

まず御神威の広がりを高めたいと幣殿の二本の柱が撤去された。天神山から酒垂神社を表参道に遷座した。また表参道には天とて屋かふえをはじめ、次々店ができた。他にも祈願受付所改修、バリアフリー化、トイレ洋式化、キャッシュレス化など、天満宮は自分の知るたつた十二年でこんなにも進化を遂げている。

私はこのように天満宮が整備されることが防府のまちの発展に繋がるものと確信している。

令和九年に式年大祭を迎えるにあたり、天満宮には更に大きな進化が期待されている。神社の進化がご神徳の更なる発揚と、まちの益々の発展となることを願い、大祭に向けて自分も進化の歯車の一つとして精一杯努めさせていただきます。

1125年
奉賛金の
お願い

奉賛金申込ご希望の方は、申込書をお送り致しますので事務局までお知らせ下さい。社頭でも受付しております。

社務所・御神忌1125年
式年大祭奉賛会事務局
〒747-0029
山口県防府市松崎町14-1
TEL 0835-23-7700
FAX 0835-23-7703

寄稿

県指定史跡

防府天満宮大専坊石垣の修復に向けて

(株)都市景観設計(大阪市)

代表取締役

奥村

信一



はじめに

—我が国の石垣の特性や美しさ—

我が国の石垣は中世から近世にかけて城石垣として大きく発展しました。それまでは土塁が中心の山城でしたが、地域の中心部に平城や平山城が築かれ、その多くは防御を兼ねて高石垣が築かれました。また農業の発展等に伴って地域の特徴のある棚田石垣も造

られました。これらの高石垣や棚田石垣は、その地域で産出する花崗岩、安山岩、砂岩、チャート等の野面石や割石、切石等を使い時代と地域によってさまざまに石垣が築かれ、なかでも世界遺産の姫路城の近世城郭の美しい高石垣は、その代表として多くの人々に親しまれています。防府天満宮大専坊の石垣はこのような流れを汲む近代初期石垣です(写真1)。

大専坊石垣について

大専坊は、境内の南西部に位置し、背後の天神山一帯は白亜紀黒雲母花崗岩で形成された丘陵状の小起伏山地となっています。

大専坊石垣は、南面里道(幅員九十センチ、高さ約二メートル)の腰石積がありますが、地盤より比高差約五メートルの雑割石谷積です。昨年六月下旬の大雨により被災し南側の石垣の中央付近が大きく崩れました(写真2)。



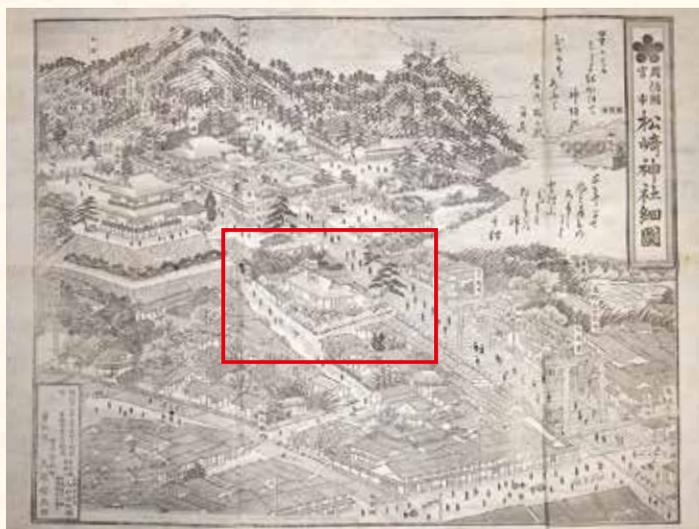
写真1 被災前の大専坊石垣(南面)



写真2 被災後の大専坊石垣(南面)



絵図2 明治28年古社寺取調書草案



絵図1 明治18年3月「周防国宮市松崎神社細図」(個人蔵)

石垣修復のため、崩落した積石の状況や土砂等を現場調査した結果、雑割石を用いて裏込に栗石等が使われていない石積で、背面は直接真砂土の盛土になっていることがわかりました。また、雑割石の石材寸法は、見えがかりの面は約三十七センチ内外、奥の控えは三十五センチ内外、石質は花崗岩です。

大専坊石垣が築かれた時期について、天満宮に関する絵図資料や古写真等により検討しますと、絵図1の「周防国宮市松崎神社細図」（明治十八年三月）によりますと、明治十八年当時、大専坊は社務所で、西側の通路（鈴虫坂）や南側里道は記してあります。が、石垣は描かれていません。

絵図2は、明治二十八年の「古社寺取調書」の元になった図です。描かれた景物はほぼ絵図1と同様ですが、大専坊（赤色枠内）は石垣が描かれ、主屋の屋根形式以外は現在の姿に近い。また本社正面の石垣は描かれていません。ところで、明治三十年五月に撮影された古写真（下段参照）に添えられた書き取りによると天満宮の石垣は、高さ六間（約十二メートル）、長さ三十六間（約七十二メートル）の大規模な石垣工事が行われています。明治三十三年七月の絵図（絵図3）「周防国宮市（天満宮）松崎神社之図」によると、本社正面の石垣工事が終わり、ほぼ現在の姿になっています。

以上の考察により大専坊の石垣は本社正面の石垣築造に先立って明治二十八年までには築かれていたと考えられます。

大専坊石垣の修復について

大専坊跡は、昭和六十二年十月、山口県史跡に指定されています。県史跡に指定されているため、その石垣も構成要素に含まれます。

石垣の積み方や法反り等は、被災前の姿に修復することが原則で、左右両端の現存石垣とも摺り付ける必要があります。

今後、石垣の背面構造や大専坊を含めた天満宮境内の水の流れ等を十分に把握し、さらに石垣の構造や雨水排水検討を進め、近年の集中豪雨等に対してもより安定した石垣構造を担保しつつ、史跡としての価値を保った石垣に修復することを目指します。

おわりに

—今後の対策について—

石垣被災前に、大専坊の石垣正面の写真や立面図等の記録がされていないため、石垣をもと通りに修復する際に、積石の向きや位置の特定には多大な時間と労力が必要となります。今後の対策としては事前に石垣の立面写真記録をとることが大切です。また石垣等に孕みや変形等の異変が生じていないか、定期点検も重要です。



絵図3 明治33年「周防国宮市(旧号天満宮)松崎神社之図」



古写真 明治30年5月「石垣工事起工式」

防府天満宮の桜浪漫

さくら咲まつり

防府天満宮では本年より「合格おめでとう」とお花見を重ね合わせた「さくら咲まつり」を新たに開催し多くの人で賑わいました。ご承知のように菅原道真公は梅と共に桜も大変好んでおられました。そのような天神様を称え境内にはたくさんの方が植えられ、江戸時代より多くの方がお花見を楽しんでいたようです。

さて、そのような天神山の桜ですが、古文書を紐解いてみると、その桜には隠された意外な浪漫が秘められていることがわかります。ではその浪漫とはどんなものか！歴史の扉を開いてみましょう。

幕末の志士である久坂玄瑞は防府天満宮の天神山で花見をしたことを日記に次のように残しています。

十六日・・・(略)・・・是日快々、

午後上天神山見櫻花、暮帰、

有人来報、江戸有義士撃殺彦

根老好、一座稱呼快然、其事

竟不確、皆以為謬傳。

〔久坂玄瑞全集万延元年三月十六日より(抜粋)〕

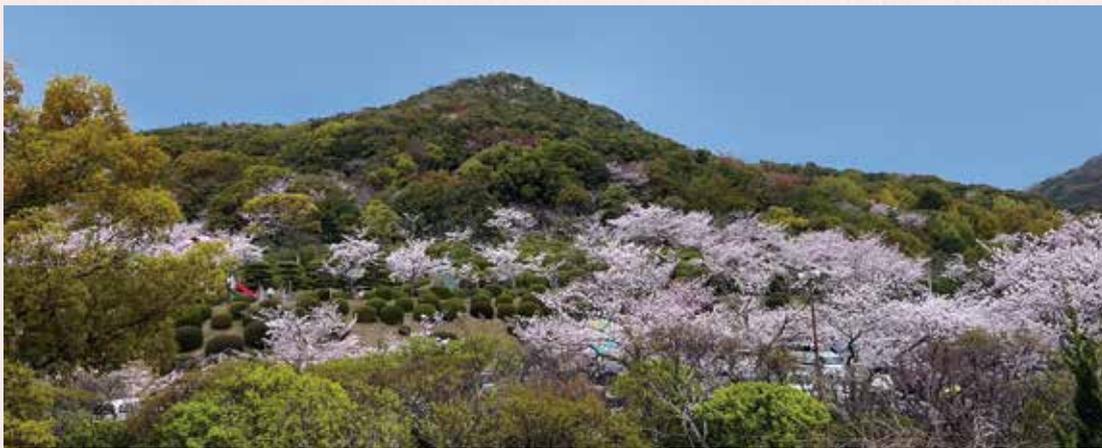


写真1 他の志士の日記にも天神山からの眺めは素晴らしかったとある。



写真2 招魂場に植えられた桜が志士達を偲ぶように今でも毎年咲き誇っています。(写真提供：櫻山神社)

一説によると禁門の変を起こした春にも人生最後となる花見を天神山で行ったと言われ、散る桜残る桜も散る桜(良寛和尚)との境地が久坂に京都への進軍を決意させたのではないのでしょうか。また高杉晋作が率いる奇兵隊は、防府に駐屯中この天神山に生野の変で亡くなった河上弥一らを慰霊するための招魂場を計画していました。防府天満宮を選んだ理由は記録にありませんが、高杉を始めとする奇兵隊は大変天神様を崇敬していましたので、天神様と同様に自分たちの志を後の人たちが評価してくれることを天満宮の桜に念じ、この天神山に招魂場を建立したいと考えたのではないのでしょうか(写真1)。残念ながら折しも外国船が襲来し、急遽奇兵隊は下

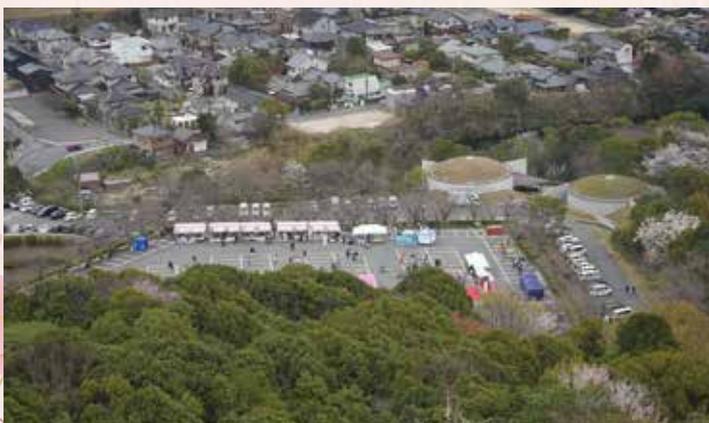


写真3 3月24日から4月7日にかけて開催した「さくら咲まつり」。開花は間に合いませんでしたが、3月30・31日の「食と花の祭典」は多くの人で賑わいました。

関に転陣することになり天神山の招魂場は実現しませんでした。しかし奇兵隊は下関に到着するとすぐに新地岡の原に招魂場を設け、そこに桜を植えてその地を桜山と称しました(現・櫻山神社写真2)。まさに天神山招魂場の再現と言えましょう。

このように防府天満宮の桜には志士たちの浪漫も秘められています。「さくら咲まつり」を楽しみながら防府天満宮の桜浪漫に浸り、維新の志士たちも歩いたであろう防府天満宮周辺を散策するのも、天神様の御神徳にふれるひとときとなるのではないのでしょうか(写真3)。

貞宮遙拝式

を齋行。数え三歳で夭折された明治天皇の第十皇女貞宮多喜子内親王の御養育係であった楫取素彦男爵が当宮に遙拝所を建立し下賜された遺品を納めました。この祭典は毎年ご命日にこの場より遙か遠くにお鎮まりになる貞宮の御神霊を拝みお慰めするものです。式には楫取男爵玄孫の小田村初男・小田村直昌両氏、会員の皆様にご参列頂きました。また、本年より楫取素彦顕彰会会長は毛利報公会会長の毛利元敦氏に替わり楫取男爵玄孫の楫取能彦氏が就任されました。



▲前列右より小田村直昌様、小田村初男様、宮司、毛利前会長、楫取会長

節分祭 牛替神事

を齋行。当日は生憎の雨模様でしたが、歳男・歳女による「開運招福豆まき」は多くの参拝者が訪れ境内は盛況となりました。

牛替神事では本年より式年大祭奉賛会羽嶋



日誌抄

(令和六年一月〜五月)

- 毎月1日、15日、25日は月次祭
毎月1日は朔日詣り(朝粥念)
毎月25日は天神市(縁日)、神道家月次祭まほろばかふえ
- 1月1日 歳旦祭
書き初め会、梅茶接待
天神おんな神輿写真展
初詣企業参拝を参集殿神殿にて齋行
- 1〜3日 新始式
梅開花宣言
七草粥の会(於参集殿神殿)
弓始式
鳥取空港受験合格祈願大絵馬設置
米子空港受験合格祈願大絵馬設置
(12月21日山口宇部空港・岩国錦帯橋空港受験合格祈願大絵馬設置)
- 11日 貞宮遙拝式
敬神婦人会役員会
牛替神事奉仕抽籤児童説明会
月次茶会表流稲田宗専先生ご奉仕
新年役員会
福豆頒布総代奉仕
萩市江崎ささえ隊27名様正式参拝
牛替え神報新聞折込
- 2月2〜3日 節分祭並第一二三回牛替神事
歳男歳女開運招福豆まき並奉告祭、抽籤児童奉告祭、責任役員就任奉告祭
牛替神事福運者当籤番号券景品引換
(4〜5日景品交換総代奉仕)
- 4〜10日 山形県山形市十文字天満神社8名様正式参拝
牛替神事神牛当選奉告祭・神牛引き渡し式
第48回防府お針祭
紀元祭、人形感謝祭人形受付開始(2月29日迄)
クラウドファンディング「防府天満宮裸坊祭1020年
の伝統を未来の子供たちへ繋げよう」終了達成
出世梅奉製作業総代奉仕
- 14日 第19回梅まつり(期間中土日敬神婦人会甘酒接待)
- 18日 梅まつり始祭稚児舞紅わらべ奉納、出世梅無料配布
幸せ写真隊着物モデル撮影会
脇本順子作陶展、平井佳代布小もの作品展、手作りアークセサリー(アーク)アナタニハナヲ
池坊防府支部奉納生花展、櫻園山城屋茶舗京の陶磁器展
梅花祭稚児舞紅わらべ奉納、出世梅無料配布
山縣酒造梅酒試飲会、梅まつり茶会表流令月会
ご奉仕、萌えぎ会琴演奏会、天神芸術村開催
- 23日 23〜25日
- 24〜25日
- 25日

梅まつり

は本年19回目を迎え、二十五日の梅花祭では池坊防府支部様のご奉仕により紅梅白梅が御神前に供えられました。また祭典では、稚児たちによる稚児舞「紅わらべ」を奉納し、御神霊をお慰め致しました。



天神様から「幸せます」

※幸せますは山口の方言で「ありがたい」「嬉しく思う」との意味があります。

奉納品

ご奉納ありがとうございました。

- 1月1日 清酒「貴」薦樽・一升十本
- 2月8日 米一俵
- 2月13日 「紅梅の塔」銘板
- 2月18日 「出世梅酒」四合二十四本
- 永山本家酒造場様
原田正様・京子様
岡本龍義・二郎様
(株)山縣本店

六月三十日(日)

十三時〜
十四時
禍除祈願祭
御田植祭

受付場所客殿
初穂料五千円



▲御田植神事

※御田植祭終了後、苗はお持ち帰り下さい。その際はご自身でお取り頂きます。
十六時〜 夏越大祓



▲輪くぐり神事
※同封の案内状をご覧ください
ご参加ください。

七月(月)〜七日(日) 七夕まつり

祭事予定

七月一日〜七日 回廊内笹飾り、光の斎庭
六日 七夕茶会 他
七日 七夕祈願祭(祈願料三、〇〇〇円)、
筆まつり・七夕書道展表彰式、
ひこぼし★おりひめコンサート他



▲光の斎庭(傘玉)

※同封の短冊にお願い事を書いてご奉納ください。神職・巫女が竹笹に結び願いが叶うよう折念します。

八月三日(土)〜五日(月) 御誕辰祭

御祭神「菅原道真公」のお誕生日をお祝いするお祭り
祭事行事予定

八月三日〜五日 万灯の夕べ、献灯・文芸ボンポリ・ピアガーデン他
三日 奉納清書展奉納奉告祭並表彰式、万灯祭、剣道大会
四日 豊穰祈願祭、古武道大会、柔道大会、夫婦円満祈願祭
五日 御誕辰祭当日祭、少年剣道大会、弓道大会、
大花火大会



▲献灯ボンポリ



▲大花火大会

御誕辰祭献灯ボンポリ奉納のお願い(一灯三、〇〇〇円)
ご奉納頂ける方には要項をお送り致しますので、社務所にお問い合わせ下さい。
※ホームページからもお申し込みいただけます。

九月上旬 鈴虫放生祭 (防府野村望東尼会共催)

平成二十八年(野村望東尼没後百五十年)から縁ある大専坊にて望東尼の御神霊をお慰めすると共に望東尼の顕彰と鈴虫坂の由来となった鈴虫を放生しております。
※鈴虫坂：境内西側の坂の通称。勤王の母と呼ばれた望東尼が戦勝祈願の為に大専坊を訪れた際、美しい鈴虫の音色を聞いたことに由来します。

令和6年 夏・秋 これからの祭事行事

十月十三日(日) 十月第二日曜日

花神子社参式

大行司・小行司役が御神幸祭の無事斎行を祈る
大行司・小行司役が醸した一夜御酒を花神子をして奉獻する社参の式であり、約五〇〇名にも及ぶ優美な時代行列が本陣から社殿まで肅々と進みます。



十一月二十三日(土・祝) 十一月第四土曜日 御神幸祭(裸坊祭)

菅公に「無実の知らせ」をお伝えし御心をお慰めする壮大なお祭り
二万人裸坊奉仕を目指して!! 裸坊・天神おんな神輿奉仕者募集中!



▲子ども会や個人・団体での参加もお待ちしております。



▲勝間の浦へ向かう数千の裸坊たち



▲勝間の浦での浜殿神事

詳しくはホームページをご覧ください。

二十四日(日) 報賽祭(天神おんな神輿奉納)

十二月九・十・十一・十二日 大祓詞浄書会(四回開催予定)

歴史館特別展「生誕一八〇年 山田顕義展」 四月二十五日〜十月三十一日

山田顕義は長州藩士で吉田松陰に師事し、高杉晋作や久坂玄瑞と共に尊王攘夷運動に奔走。御堀耕助・品川弥二郎ら同志と御桶隊(のち整武隊)を結成、三田尻(現在の防府市)に駐屯。岩倉遣外使節団に加わり渡米し、初代司法大臣として法典整備に尽力しました。現在の日本大学や國學院大学の学祖でもあります。本年生誕一八〇年の節目にこの度の展示を企画いたしましたので、是非この機会にお越しください。

SNSで防府天満宮と繋がろう



さかたり第113号
令和6年6月1日発行
発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029
山口県防府市松崎町14-1
TEL 0835-23-7700
FAX 0835-25-0001



防府天満宮

検索

facebook

(旧Twitter)

Instagram